

# 図書館だより

NO. 132 2009年 2月号  
(2009年2月1日発行)

はつかいち市民図書館  
電話(0829)20-0333  
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

<特別整理期間(休館日)>...ご迷惑をおかけします...

**2月26日(木) ~ 3月6日(金)**

\*はつかいち市民大野図書館は開館しております\*

本の返却は返却ポスト2ヶ所(図書館入口左と建物裏の駐車場のところ)をご利用ください。  
視聴覚資料(CD・ビデオ・DVD)は傷みますので、返却ポストへは入れないでください。

## 特別整理期間には、つぎのようなことを行っています。

各書棚(書庫含む)の約20万冊の本についているバーコードを専用の機器で読み取り、蔵書の情報と照らし合わせ、正しい配置場所にあるか、不明になっていないかの確認を行います。

\*例えば、廿日市に関係する資料が、小説の棚にあった場合などは正しい位置に戻したり、定位置に本を並べることで不明だった本が発見されることもあります。

その他に、本の配置場所変更・本の修理・書架の清掃・書架のレイアウト変更なども行います。

## <今月の展示>

### <さくらびあ展示>『オペラ』

2月15日(日)にさくらびあで開催される「さくらびあ市民オペラ第11回コンサート」にちなんで、オペラに関する本を展示します。

### <中央展示>『写真でみる世界の人々 ~人・貌・人~』

先月に引き続き、世界の人々の「貌(かお)」が写し出された写真集を展示します。おのおのの写真に見え隠れする時代・くらし・想いを感じてみませんか。

### <児童展示>『まだまだ寒いね!』

木枯らしが吹いたり、雪が降ったり...絵本の中でも同じような冬の光景がたくさん広がっていますよ。絵本の主人公たちと一緒に冬の寒さを楽しんでみませんか。

### <テーマ展示>『ワークライフバランス(仕事と生活の調和)』

ワークライフバランスとは?いきいきと生活していける社会について考えるきっかけになる本を展示します。

## 1月の読書会で読んだ本

一般書

### 『ビルマの豎琴』

竹山道雄/著 BF/夕 新潮社

作品には、戦後の「世相に対する憂慮と虚脱し荒廃した人々の心に、何とか生きる道を見出させ、希望と信頼を復活させたい」という意志がみなぎって「います。現代の私たちにも考えさせる課題を示す作品といえるでしょう。

\*読書会通信(根っこの歌より)

毎月第3水曜日(10:00~12:00)です。  
会費・場所等は、はつかいち市民図書館へお問い合わせください。

3/18 課題図書は

「兎の目」灰谷健次郎/著です。

#### <読書会参加者の声>

「ビルマの豎琴」は、読書会の課題図書から読みました。もし、読書会に参加していなかったら、この本を手にとるはなかったでしょう。すばらしい作品に出会え、戦前・戦後の方の感想を聞くことができ有意義な時間が過ごせました。

## 図書館員がすすめる本

一般書

### 『パリママの24時間』

中島さおり/著 367.2/ナ 集英社

本書は、先進国では珍しい出生率の伸びを示す国「フランス」の「ワーキングマザー15人の生活」が描かれている。

さまざまな職業や家庭環境の母親が登場し、パリ在住の著者がインタビュー形式で本音を聞いているところが本書の魅力である。

行政からの援助や多様な託児システムによって、男性も女性もいきいきと働き子育てをすることができる土台が確立されている国とはいえ、制度だけでは解消されない悩みもたくさんあるようだ。

フランスにおいても男性と女性が家事や育児を分担するのは難しいようである。それぞれの家庭やカップルによって意識の差があるということも本書では述べられていた。その部分は、日本と何ら変わらないような気がする。

図書館職員

## <今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『読書は1冊のノートにまとめなさい』 奥野宣之/著 Nanaブックス 019/オ
- 『折れない心の作り方』 齊藤孝/著 文芸春秋 159/サ
- 『直江兼続』 今福匡/著 新人物往来社 289.1/ナ
- 『英語で日本のすべてを紹介する事典』 向井京子/著 日本文芸社 291/ム
- 『オバマのアメリカ~大統領選挙と超大国のゆくえ~』 渡辺将人/著 幻冬舎 S312.5/ワ
- 『図解 早わかり消防法』 大脇賢次/著 ナツメ社 317.7/オ
- 『今日から使える 複素関数』 飽本一裕/著 講談社 413.5/ア
- 『シャンパン&スパークリングワイン』 須藤海芳子/著 主婦の友社 596.7/ス
- 『観光統計からみえてきた 地域観光戦略』 額賀信/著 日刊工業新聞社 689.1/ヌ
- 『市川崑大全』 映画秘宝編集部/編 洋泉社 778.2/イ
- 『克己心』 宇津井健/著 幻冬舎 778.2/ウ
- 『大阪のオバチャンはなぜ人前でもあがらないのか?』 金井英之/著 経済界 809.4/カ
- 『東京借景』 荻世いをら/著 河出書房新社 F/オ
- 『逆襲につぼんの明るい奥さま』 夏石鈴子/著 マガジンハウス F/ナ
- 『少女』 湊かなえ/著 早川書房 F/ミ

『空とぶじゅうたんーアラビアン・ナイトの物語よりー』

マーシャ・ブラウン再話・絵 松岡享子訳 アリス館 E/7  
インドの王サルタンの王子たちは、三人ともいこのノア・アルニハ王女と結婚したいと願っていた。こまった王は、この世で最も珍しい宝を持ち帰った者を、王女と結婚させると三人に命じて、旅に出し…。鮮やかな色彩のマーシャ・ブラウンの作品。

『好奇心の部屋デロール』

今森光彦 文・写真 福音館書店 480/1

パリの裏通りを歩いていると、ショーウィンドーの中にライオンを見つけた。中に入ると、ダチョウの卵やヘラジカの角、動物の剥製が並んでいる。そこは170年前から剥製や昆虫・植物の標本や鉱物を集め売るデロールという店だった。実際の剥製や標本を見せてくれる図鑑のようなお店を写真で紹介。

『「百人一首」かるた大会で勝つための本』

カルチャーランド 著 メイツ出版 798/7

百人一首を使った競技かるたは、100分の一秒を競うもので性別も年齢も体型も関係なく誰にもできるスポーツです。この本では、百人一首の歴史、かるたの進め方やルール、暗記の仕方など、競技かるたに強くなる方法をわかりやすく説明しています。

『なぜ戦争はよくないか』

アリス・ウォーカー 文 ステファーン・ヴィタール 絵 長田弘 訳 偕成社 E/7

戦争が姿をたくみに隠し、人々の平和な日々を忍びよるおそろしさを、わかりやすくしかも深みのある文章で、子どもたちに語りかけます。9.11のテロ攻撃に対してアメリカが行った報復の現実、作者が衝撃を受け書いた絵本です。著作にピューリッツァー賞受賞作『カラーパープル』があります。

『気をつけよう！ケータイ中毒』 第2巻

学校裏サイト 渋井哲也 著 汐文社 694/7

学校裏サイトは、子どもたちが学校の問題を気軽に情報交換でき、自由に作成できるホームページです。「裏」という言葉から陰険なイメージを連想しがちですが、陰険なものはほんの一部です。本書では裏サイトの問題点と対策を解説しています。

『ウィロビー・チェースのオオカミ』

ジョン・エイキン作 こだまともこ訳 富山房 933/1

ポニーは広大な屋敷で何不自由なく暮らしていた。両親がやとった遠縁の家庭教師は、両親の留守をいいことに、屋敷を乗っ取ろうとする。架空の時代の英国を舞台に、ポニーがいとこのシルヴィアやガチョウ飼いのサイモンと、知恵をしばり果敢に立ち向かう冒険物語。「ダイドールの冒険」シリーズの第1巻目。新訳、新装版で再版。

ミニブックトーク

ハンス・フィッシャー生誕100年です。

1909年、ハンス・フィッシャーは、スイスの山地ベルヌに生まれました。装飾画や版画を学び、舞台美術や壁画を手掛け、商業デザイナーとしても活躍していました。しかし、身体を壊したので、自分の子どものために絵本を描き始めましたが、過労でわずか49年の生涯を閉じました。制作した絵本は6冊。黒い線に色をのせる手法はフェルナンド・レジェ、作品の斬新さはパウル・クレーに影響を受けたと言われています。リズムカルな線描で、主人公が表情豊かに描かれた絵本をお楽しみください。日本では出版されていないので下のリストにはありませんが、長男ガスパールのために描いた絵本『いたずらもの』もあるそうです。この絵本は、にわとりが主人公で、見返しの模様が素晴らしいそうです。

- ① この本は、初めての絵本で、長女ウルスラへ、クリスマスにプレゼントされた絵本です。
- ② 末娘アンナ・バーバラの4歳の誕生日に贈られた絵本は、大好きなものが全部登場します。
- ③ 『たんじょうび』の最後に登場する子猫「ぴっち」を主人公に描いた絵本もアンナ・バーバラへ。
- ④ フィッシャーが絵物語に仕立てて注釈を付けました。シャルル・ペローの原作。
- ⑤ 学校の廊下を飾る壁画を念頭に描かれた原書は文章がなく、さとう氏が一行の日本語を添えました。

① 『ブレーメンのおんがくたい』 グリム童話 ハンス・フィッシャー え せたていじ やく 福音館書店 1964 E/7

② 『たんじょうび』 ハンス・フィッシャー ぶん・え おおつかゆうそう やく 福音館書店 1965 E/7

③ 『こねこのぴっち』 ハンス・フィッシャー文/絵 石井桃子訳 岩波書店 1987 E/7

④ 『長くつをはいたねこ』 ハンス・フィッシャーぶん・え やがわすみこやく 福音館書店 1980 E/7

⑤ 『るんぶんぶん』 ハンス・フィッシャー/作 さとうわきこ/ことば 小さな絵本美術館 架空社 2000 E/7

# 平成21年度おはなし会日程調整会

はつかいち市民図書館では、毎月第1・3金曜日と第2・4土曜日に「おはなし会」を開催しています。この「おはなし会」は、図書館職員とボランティアが協力して行っているものです。平成21年度の「おはなし会」の日程調整を行いますので、「おはなし会」に興味がある人、学校や地域で活動されている人はぜひご参加ください。

**日時** 平成21年2月19日（木）

**10:00～12:00**

**場所** 廿日市市役所7階会議室

**内容** 平成21年度「おはなし会」の日程調整  
図書館職員による新刊児童研究書の紹介  
わらべうたのミニ講習会

## 2月の図書館カレンダー

### ◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

### ☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

場所は図書館会議室です

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館	3 休館	4	5	6 ◎	7
8	9 休館	10	11	12	13	14 ☆
15	16 休館	17	18	19	20 ◎	21
22	23 休館	24	25	26 休館	27 休館	28 休館

## 特別整理期間のお知らせ

はつかいち市民図書館 2月26日（木）～3月6日（金）

大野図書館 2月12日（木）～2月19日（木）

さいき図書館 3月3日（火）～3月6日（金）